



ベルギーの鬼才、ヤン・ファール演出振付作品 日本初演！

タイトル	ヤン・ファール 演出振付 Another Sleepy Dusty Delta Day ~またもけだるい灰色のデルタデー		
作品概要	監督・脚本:ヤン・ファール 振付:ヤン・ファール、イヴァナ・ヨゼク 出演:アルテミス・スタヴリディ		
日時	2010年10月2日(土) 18:00開演(17:45開場) 3日(日) 15:00開演(14:45開場) ※演出の都合により、開演後の途中入場を制限させて頂く場合がございます。 ※10月2日終演後、カンパニーメンバーによるアフタートークあり。		
会場	金沢21世紀美術館 シアター21		
料金	<全席自由> 前売=4,000円 当日=4,500円 【友の会会員特典】 ※美術館での購入に限り1割引、学生会員は500円引きになります。(会員証とともに学生証提示) ※優先入場特典があります。開場10分前にお集まり下さい。(入場時に会員証提示)		
チケット取扱	金沢21世紀美術館ミュージアムショップ TEL 076-236-6072 チケットぴあ(Pコード:405-465) ローソンチケット(Lコード:58758)		
主催	金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]	助成	(財)地域創造
後援	ベルギー大使館、ベルギーフランドル交流センター		
制作協力	国際舞台芸術交流センター(PARC)	技術協力	(財)埼玉県芸術文化振興財団
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2811(交流課)		

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当/黒田 事業担当/近藤、中山
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814(広報室) FAX 076-220-2806
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

金沢21世紀美術館では展覧会*に引き続き、1980年代から舞台芸術でも世界をリードするヤン・ファーブルの作品を上演します。2008年アヴィニヨン演劇祭で初演され、絶賛を受けた一人芝居／ソロダンス。彼の作品に共通している「愛と死」をテーマにした舞台で、ダンス、ナレーション、音楽、美術を融合した、ジャンルを超えた才能を見せるヤン・ファーブルのエッセンスが凝縮された作品です。

*『Alternative Humanities ～ 新たなる精神のかたち:ヤン・ファーブル × 舟越 桂』

■ 当館ポッドキャストラジオでヤン・ファーブルのインタビュー配信中

<http://marubiontheradio.com/>

■ 当公演ページにてインタビューの一部を動画でもご覧いただけます。

<http://www.kanazawa21.jp/>

ヤン・ファーブルから
メッセージ

Beauty and art can cure the wounds we have in our hearts, caused by the wars in our mind.
I wish the Japanese public a lot of peace in their mind and hope the wounds in their hearts will cure.

Jan Fabre.

美と芸術は、内面で起こる戦争によって私たちが負った心の傷を癒す力を持っています。日本の観客のみなさんの心の平安と、心に傷があるならばそれが癒されることを願っています。

ヤン・ファーブル

作品介绍

『Another Sleepy Dusty Delta Day』は、2008年にヤン・ファーブルが、クロアチア人パフォーマー、イヴァナ・ヨゼクのために創作した一人芝居／ソロダンスである。2010年に、ヤン・ファーブルとアルテミス・スタヴリディとの共同作業で新しく創りなおされ、海外ツアーを行っている。

作品タイトルは、1967年のボビー・ジェントリーの伝説的なヒット曲『ビリー・ジョーの歌』の歌詞から取られている。このミステリアスなカントリー・ソングの語る間隙を残した物語は、今もなお様々な憶測を呼んでいる。

『ビリー・ジョーの歌』が語るのは、ある自殺の物語である。思春期の娘が、家族と夕食の食卓についている。彼女の母親が、ビリー・ジョーが橋から身を投げて自殺したと告げる。家族はビリー・ジョーの思い出を話のタネにし、血をやりとりしながら日常の些細な気がかりについて話し合うが、母親はふと娘が食欲を失っていることに気付く。こうした背景から、物語の語られていない部分への興味が徐々に生じてくる。この思春期の娘とビリー・ジョーは二人で橋から何を投げたのか？ 二人は人目を忍んで恋仲にあったのか？

禁じられた恋と自殺というテーマは、ヤン・ファーブルにとって『Another Sleepy Dusty Delta Day』創作の出発点になった。熱気と埃で息の詰まりそうな一日。愛と別れ、終わりなき非知への飛翔の物語。

ヤン・ファーブルは、『Another Sleepy Dusty Delta Day』を書くにあたって、一人の男が愛する女性に宛てた手紙という形式を選んだ。その結果生まれたのは、自らの生を決定する権利、とりわけその終わりを決定する権利を強調する、真に個人的なテキストである。このテキストは、生への、愛への、そして死への共感と敬意の証しなのだ。

プロフィール



Photo: Stephan Vanfleteren

ヤン・ファーブル Jan Fabre

1958年ベルギー・アントワープ生まれ。美術家、演出家、振付家、作家、詩人、パフォーマンス・アーティストなど、ジャンルを超えて、革新的かつ多彩な才能で世界的に知られる鬼才。1984年ベネチア・ビエンナーレをはじめ、カッセルのドクメンタ、サンパウロ、リヨン、イスタンブールなどの多数の国際展に参加。2008年にはパリのルーブル美術館で大規模な個展を開催し国際的評価を高める。オペラ、演劇、ダンスなどアートに留まらない多彩な表現で精力的に作品を生み出し続け、常に大きな話題を集めている。今年、金沢21世紀美術館では「Alternative Humanities～新たなる精神のかたち:ヤン・ファーブル×舟越桂」展(2010.4.29-8.31)を開催。洋の東西を超えて現代に息づく人間性への問いかけを呈示した。

アルテミス・スタヴリディ Artemis Stavridi (ダンサー)

アテネ州立ダンススクールで学士取得後、ブリュッセルのP.A.R.T.S.(Performing Arts Research and Training Studios)に入学しアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルに師事する。同スタジオ卒業後、ヤン・ファーブル／トルブレインに入団するまで、フリーランスのダンサーとしてベルギーにて数々のプロジェクトに参加。フレ・ウェルブルック、コンスタンディノス・リゴス、パスカル・リウー、アティナ・ヴァーラ、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、クリス・フェルドンク、ヤン・ファーブルなどの振付で踊っている。ダンサーとして高く評価され、IKY(ギリシア政府奨学金財団)やdanceWEBなどから奨学金を得ている。その他、この二年間はイニャーキ・アズピラーガによるパートナーリングやコンテンポラリー・テクニクのワークショップのアシスタントとしても活躍。



Photo: Jean Pierre Stoop

関連イベント

ワークショップ — ヤン・ファーブルの創作方法について

■ 概要

日時: 2010年10月4日(月) 18:30~22:00 場所: 金沢21世紀美術館 シアター21

講師: マリーナ・カプテン(ヤン・ファーブル・ティーチング・グループ)

料金: 1,000円 定員: 15名(先着順・要申込)

対象: 18歳以上。身体表現(ダンス・演劇など)の経験者もしくは興味のある方。

申し込み方法: お電話またはFAXにてお申し込み下さい。

FAXの方は、氏名、性別、年齢、電話番号、メールアドレス、

経験、応募理由をご記入の上、下記までお送りください。

お問い合わせ: TEL 076-220-2811 交流課(電話受付は平日12:00~18:00)

FAX 076-220-2802

■ 内容

このワークショップは、ヤン・ファーブルが舞台の中で最も重要なものとする「身体と空間との関係性」を探ることを目的としたものです。ここでは、舞台の中で通常行われる心理学的アプローチによる身体表現ではなく、空間をどのように使うか、またテリトリーをどのように感じるかを学びます。

自分の体を使ってヤン・ファーブルの舞台の作り方を体験してみませんか?

次のようなテーマに取り組みます。

・ファーブル作品における「反復」「狂気」「ディシプリン」

■ 講師プロフィール: マリーナ・カプテン

クラシック・ダンスを学んだのち、1987年よりヤン・ファーブルに作品に参加。1987年-96年の間ファーブルの全主要作品に、ダンサー、俳優として活躍。2005年からはファーブルのカンパニーでコーチおよびダンス・アシスタントとして活動。ソロ作品『主役の男が女である時』では、リズベット・グルウエーズとスン・イム・ハーのコーチを務めた。また、本作品『Another Sleepy Dusty Delta Day~またもげだるい灰色のデルタデー』では、アルテミス・スタヴリディのコーチを務めている。

2005年よりファーブルのティーチング・グループの一員として、コロンビア、米国、カナダ、ペルー、ベルギー、オランダなど世界各国でワークショップを指導。日本でのワークショップは今回が初めての開催となる。ファーブルとの協同作業のほかにも、ダンサー、俳優、振付家として数々のオランダのカンパニーと活動している。

マスコミの皆様へ

貴媒体にて広く事前告知、取材いただけるようよろしくお願いいたします。

舞台準備の都合上、下記の通り取材日時及び条件を設定しております。予めご理解・ご了承をお願いします。

ご質問、ご要望などありましたら遠慮なく金沢21世紀美術館広報室(担当:黒田)までご連絡ください。

<事前取材について>

・10月1日(金) 15:00~15:30 (場所: シアター21又は楽屋)

アルテミス・スタヴリディ(ダンサー)、マリーナ・カプテン(ヤン・ファーブル・ティーチング・グループ)のコメント撮り可能です。(日/英通訳付き)

・10月2日(土) 16:30~16:40(場所: シアター21)

作品の見どころを10分間のみ公開披露します。限られた時間ですが、本番同様に撮影が可能です。

<本番取材について>

・10月2日(土)、3日(日)

本番の撮影は不可となっております。ご希望あればオフィシャルカメラマンによるスチール画像を追って提供いたします。

・10月4日(月)

ワークショップの取材は不可となっております。

<資料提供>

広報用写真をご希望の方はお申し付けください。また、金沢公演に先立って行われた愛知芸術文化センターでの本番映像を用意しております。詳しくは金沢21世紀美術館広報室(担当:黒田)までご連絡ください。